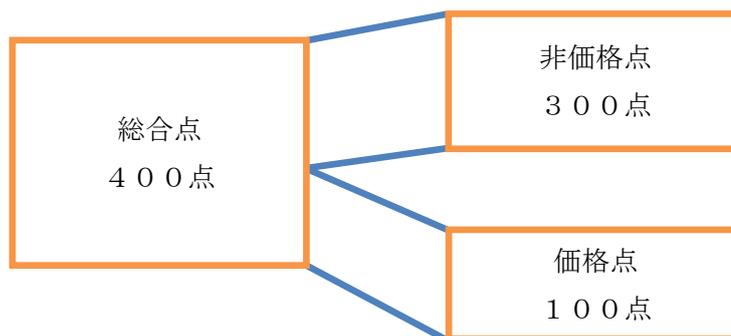


「書かない」・「行かない」市役所づくりに向けた システム構築業務及び運用保守業務評価基準

1 基本的な考え方

候補者の決定にあたっては、提案内容によって評価する方法を採用し、総合点の最も高い提案者を候補者とする。



(1) 評価の点数

提案者の獲得する「総合点」は、内容を評価する「非価格点」と「価格点」の単純な和となる。

$$\cdot \text{総合点 (400点)} = \text{非価格点 (300点)} + \text{価格点 (100点)}$$

(2) 有効数字

「非価格点」及び「価格点」の算出にあたっては、小数点以下1桁目で四捨五入する。

(3) 総合評価の方法及び候補者の決定方法

「(1) 評価の点数」で評価した「総合点」が最も高い者を候補者とする。

(4) 総合点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

- ① 提案者それぞれの「非価格点」、「価格点」が異なる場合
「非価格点」が高い者を候補者とする。
- ② 提案者それぞれの「非価格点」、「価格点」が同じ場合
別途日を定め、くじ引きにより候補者を決定する。

2 提案内容の評価

(1) 非価格点について

① 評価について

「非価格点」は、別に定める「企画提案書評価項目表」に基づき、以下の手順で企画提案書の内容を評価する。

ア 評価項目の設定、配点

次のとおり評価項目を設定し、以下のように配点を設定する。

分類	評価項目	加重点	配点
非 価 格 点	1. 提案内容		
	1-1 基本的な考え方	1	5点
	1-2 システム構成	2	10点
	1-3 システム内容	4	20点
	1-4 運用保守体制	2	10点
	1-5 導入実績	—	15点
	1-6 導入支援	4	20点
	1-7 追加提案	4	20点
	2. 機能要件		
	2-1 機能要件への対応状況	—	100点
	3. デモンストレーション		
	3-1 デモンストレーション	—	100点
	非価格点小計		

イ 非価格点の考え方

○提案内容（1-5 導入実績を除く）

評価基準	評価値
優れている	5点
やや優れている	4点
普通	3点
やや劣る	2点
劣る	1点
記載なし	0点

○導入実績

窓口業務支援 システム / コンビニ交付 システム	履行実績が 10 団体以上	履行実績が 9～3 団体	履行実績が 1～2 団体	記載なし
履行実績が 10 団体以上ある	15 点	12 点	10 点	8 点
履行実績が 3～9 団体ある	12 点	10 点	8 点	5 点
履行実績が 1～2 団体ある	10 点	8 点	5 点	3 点
記載なし	5 点	3 点	2 点	0 点

※窓口業務支援システムの実績は、ガバメントクラウドにおける地方公共団体への窓口 DXSaaS 提供実績に限る。

※証明書コンビニ交付システムの実績は、過去3年間の実績のうち人口15万人以上の団体のものに限る。

○機能要件一覧

本市指定様式「機能要件一覧表」により、下記のとおり採点する。

評価基準	評価値
標準対応（実装済み又は令和9年1月3日までに対応予定）	3点
標準対応（令和9年度末までに対応予定）	2点
オプション対応	2点
カスタマイズ対応	1点
対応不可	0点

○デモンストレーション

以下の観点からアと同様、5～1点で評価。

- ・画面構成
- ・操作性
- ・機能性

ウ 評価項目の加重点の考え方

評価項目に応じて、加重点を項目ごとに設定する。

エ 非価格点の計算

非価格点の計算は以下の式で行う。

- ・ 項目評価点（1-5導入実績を除く） = 評価項目の評価点×加重点
- ・ 項目評価点（1-5導入実績） = 評価項目の評価点
- ・ 機能要件評価点 = 各項目の評価点の和×2÷3
- ・ 非価格点 = 項目評価点と機能要件評価点の合計

② 失格について

「非価格点」が60%未満の場合には、失格とする。

3 提案価格の評価

「価格点」の点数算出式は、次のとおりとする。

$$\text{価格点} = 100 \times (\text{提案価格のうち最低価格} / \text{自社の提案価格})$$

- ・ 提案上限額は、評価のための数値であり、本市にて設定する。
- ・ なお、提案価格が提案上限額を超えている場合は、失格とする。
- ・ 参加者が1者のみまたは、提案価格書の金額が全て同額の場合は、価格を一律100点とする。

以上